

夢のかけ橋

平成22年（2010年）

7



高知県教育だより ～ 第11号 ～



教育委員退任のご挨拶 ～経営について～



人を育てようと16年間取り組んだ教育委員の任期を7月20日で終えました。多くの関係の皆さまに心から厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

委員に就任したころ、学校の先生方が「学級経営」、「学校経営」という言葉を使われることを企業経営者である私は多少奇妙な感じをもって聞いていました。

わが国の企業経営の神様といわれる松下幸之助氏は、「人・もの・金」という経営の3大資源を生かすことだといっています。

世界の経済学者であるP・F・ドラッカー氏は、「事業の目的は顧客の創造である。そして、企業は2つだけの基本的な機能を持つ。それがマーケティングとイノベーションだ。マーケティングとイノベーションだけが成果をもたらす。」と語っています。

また、経営とは文字に書いてあるとおりで、“経”は「たて糸、時代をたてに貫いて伝わる不変の道理」を意味しており、それを営むことだ。つまり志を立て、計画を立てて、それを営み続けることだと説く人もいます。

果たして、学級・学校経営にとって3大資源とは何でしょうか？ 学級・学校にとって顧客とは誰でしょうか？ 一度、深く考えてみる必要があると思います。参考図書にドラッカー著「マネジメント」がありますが、その難解さを和らげた岩崎夏海著「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」が面白くて為になるからお勧めです。

教育関係の皆さまが健康で頑張れるよう、これからも見守っています。

前高知県教育委員 宮地 彌典

教育委員の新任にあたって



この度、教育委員に就任しました竹島です。バレーボール一筋にやってきましたので、全く畑違いのお話にすごく悩みましたが・・・新たな挑戦＝チャレンジをしてみようと思い、スポーツ指導の資格しかない私ですが、引き受ける事にしました。

30年間高知を離れていましたので、高知の現状を少しでも早く把握して、皆様のお力をお借りしながら、一県民としての目線、そして主婦としての目線で、生まれ育った高知の為に、少しでもお役に立つ事が出来れば良いなと思っています。

スポーツは限界を感じたら引退！！辞めればいいですけど、教育委員としての仕事は、先の長い、終わりのない大変な仕事です。学校訪問もあると聞いていますので、気持ちは若い頃に戻って、スポーツの現場にも出向いて行きたいです。

皆様、これからよろしくお願ひ致します。

高知県教育委員 竹島 晶代

幼児期の教育と小学校教育をつなぐ

保育所保育指針や幼稚園教育要領では、小学校教育との円滑な接続を図り、保育所と幼稚園における教育の成果が小学校につながっていくことが大切であることから、職員間の意見交換を通じて相互理解を深めることや幼児と児童との交流など具体的な内容が示されています。また、改訂小学校学習指導要領でも、同様のことが示され、国語や生活科等の解説の中で、幼児教育の成果を踏まえることや幼児期の発達に配慮することなどが記されています。

遊びを中心とする幼児教育と、教科等の学習を中心とする小学校教育とでは、教育の内容や方法は明らかに異なります。子どもたちが小学校入学と同時に突然違った存在になるのではなく、滑らかな接続を図ることが必要ですが、それは、どちらかの教育に合わせ段差をなくすことではありません。保育所・幼稚園で遊びを通して学んだことが先行経験となり、その教育の成果が小学校以降の生活や学習に生かされていくことを意味しています。こうした教育を実現していくためには、幼児期から児童期への発達や学びの連続性を確保していくことが必要です。

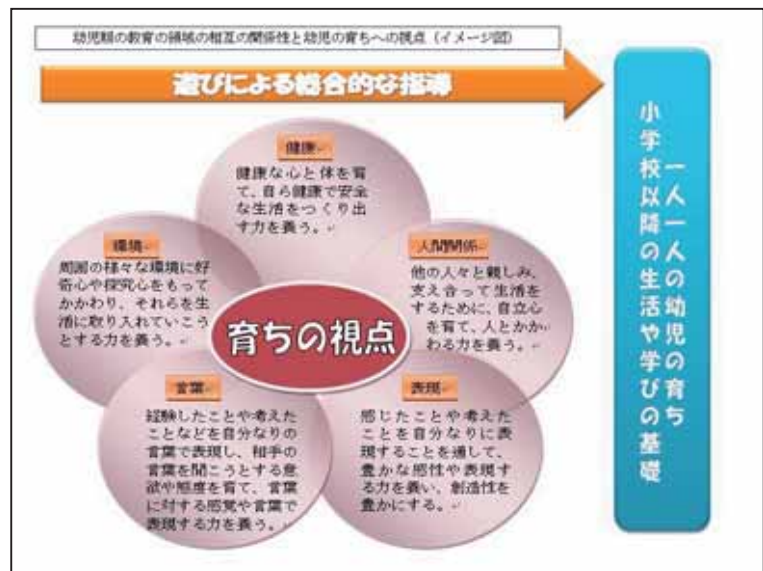
では、保育所・幼稚園での教育とはどのようなものでしょうか。

人は生まれながらにして、自然に成長していく力と同時に、周囲の物や人に対して興味や関心を抱き、好奇心や探究心をもち、能動的に働きかけようとする力をもっています。その特性から、保育所や幼稚園などでは、保育者が一方的に働きかけるのではなく、一人一人の子どもの生活や遊びといった直接的、具体的な体験を通して、自らが発達しようとすることを大切にされた指導を行っています。そして、人とかかわる力や思考力、感性や表現する力などを育み、基本的な生活習慣を身に付け、小学校以降の生活や学習の基盤となる生きる力の基礎を培っています。

<保育所・幼稚園での教育の領域とねらい>

保育所・幼稚園での教育には、健康・人間関係・環境・言葉・表現の5つの領域があります。領域というのは、保育者が幼児の生活を通して総合的な指導を行う際の視点であり、教科のようにそれらが独立しているものではありません。

例えば、お店屋さんごっこの品物作りの場面では、友達と思いや考えを出し合いながら、工夫したり協力したりしながら品物を作っていきます。そして、子どもたちは物を作る楽しさや友達と一緒にだからこそできるうれしさを味わい、ときには思いのふつかり合いや葛藤などを経験することもあります。また、できた品物を同じ数ずつ分けたり看板を作ったりと、数や文字に触れることもあります。この中では、人間関係・環境・言葉・表現などの領域が相互に関連し合っています。そして、これらの経験は、小学校以降の学級集団や算数、国語、図画工作などにもつながっていきます。



教育の5領域のねらいは、心情・意欲・態度で構成されており、育ててほしい子どもの姿（方向目標）を示しています。

領域	ねらい
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・明るくのびのびと行動し、充実感を味わう。 ・自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ・健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・（幼稚園）生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。（ ）内は幼稚園のみ。 ・身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。 ・社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。 ・身近な環境に自分からかかわり、発見を楽しんだり、考えたりして、それを生活に取り入れようとする。 ・身近な事物を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。
言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ・日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育士等や友達と心を通わせる。
表現	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなものの美しさなどに対する豊かな感性をもつ。 ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。

幼児教育は、教えて身に付けさせるものでもなければ、何かができるようになることを成果としているものでもありません。子どもの主体性と保育者の意図をバランスよく絡めながら、子ども自らが体験し、充実感や達成感を味わうことにより、豊かな心情、自ら物事にかかわろうとする意欲、健全な生活を営むために必要な態度を育てているのです。

このように幼児期の教育は、内なる育ちを大切にしながら、小学校以降の生活や学びの基盤を培っています。

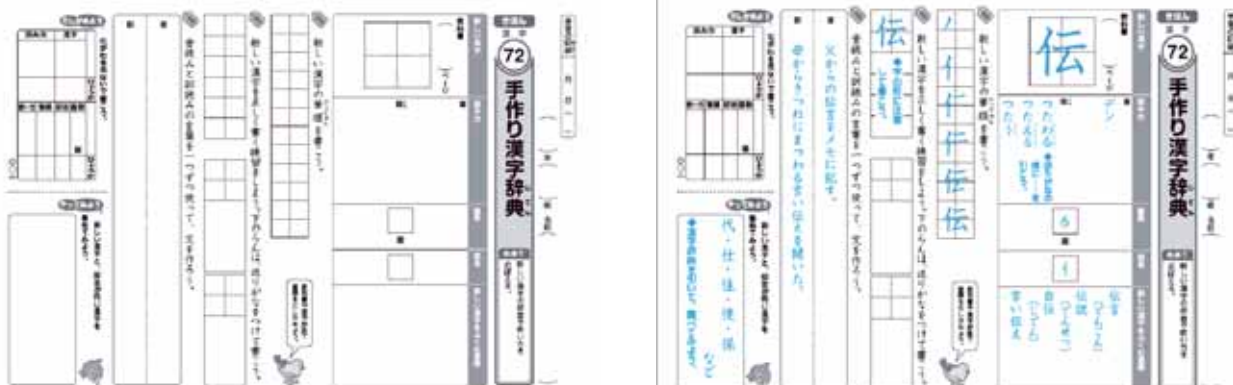
国語学習シートを繰り返し活用して「ことばの力」の育成を！

前号（第10号）でもお知らせした国語学習シートの中から、各学年の「漢字の学習の仕方を身に付けるためのシート」を、先日お配りしました。このシートは、学年に応じて自学・自習ができる構成になっていますので、該当する学年で使用することはもちろん、必要に応じて、他の学年のシートを使うこともできます。

また、今回のシートを使って、漢字の学習に関する学年の系統の教材研究を行ってみたいでしょうか。国語学習シートは、小・中学生に国語の家庭学習の仕方を習得させ、国語の家庭学習の習慣を身に付けさせることも意図して作成しています。学年に応じた漢字学習の自主学習ができるようになった子どもの姿をイメージしながら、その姿を目指して、これらのシートを計画的に使っていただきたいと思います。

今後は「語句」「短作文」「視写」「文章の要約」などのテーマごとに、楽しみながら文章を書いたり、語彙を増やしたりすることのできる学年シートを各20枚作成し、9月の末には小学校編（131シート）・中学校編（67シート）を各学校にそれぞれお届けします。

国語学習シートを家庭学習や放課後学習で繰り返し活用することで、国語の学習の仕方を習得させ「ことばの力」の育成を図ってください。



第3回全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会開催

第3回目となる全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会を6月30日高知共済会館で開催しました。

会議では大会事業計画や予算等が承認され、これから大会本番に向け本格的に準備を進めていくことになります。



マナビィ「高岡教育総合フェスタ」、「バラハク」で活躍！

大会のマスコット「マナビィ」が6月21日の「高岡教育総合フェスタ」（須崎市市民文化会館）と7月17日「バラハク」（高知市文化プラザかるぽーと）で大会をPRしました。

今後も、市町村主催事業などのイベント会場へ出掛ける予定です。



高岡フェスでは子ども達に大人気



「バラハク」では西原さんと記念撮影

◎行事予定（8月、9月の主なもの） <注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

平成22年8月

- 4日 防災教育研修会<西部地区>（黒潮町 ふるさと総合センター 10時～）
- 5日 // <東部地区>（安田町 安田町文化センター 10時～）
- // 地教連部教育委員研修会（高知市 共済会館 14時～）
- 6日 防災教育研修会<中部地区>（高知市 ふくし交流プラザ 10時00分～）
- 7日 PTA・教育行政研修会<香美・香南地区>（香美市 香美市中央公民館 13時30分～）
- 9日 学校組織マネジメント研修（高知市 ふくし交流プラザ 8時30分～）
- 9日～12日 体育実技指導者講習会（高知市 高知会館他 9時30分～）
- 18日 第2回県立学校長会議（高知市 共済会館 10時～）
- 19日 第15回四国商業教育研究大会（高知市 三翠園 10時30分～）
- // 高知県公立小・中・養護学校女性校長会夏季研修会（高知市 高知会館 14時～）
- 20日 高等学校教育課程連絡協議会（田野町 中芸高校 13時～）
- // 平成22年度第1回文化財保護審議会（高知市 高知会館 13時30分～）
- 23日 学校保健研修会（高知市 総合あんしんセンター 9時30分～）
- // 高等学校教育課程連絡協議会（南国市 岡豊高校 13時～）
- 24日 //（四万十市 中村高校 13時～）
- // 定例教育委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～）
- 25日 高等学校教育課程連絡協議会（須崎市 須崎高校 13時～）
- 26日～27日 平成22年度全国特別支援学級設置学校長協会 第47回全国研究協議会高知大会（高知市 RKCホール他 12時30分～）

平成22年9月

- 10日 平成22年度全国学力・学習状況調査の活用に関する研修会（高知市 RKCホール 13時30分～）
- 15日 定例教育委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～）
- 16日 中国四国地区特別支援学校事務長会（高知市 高知会館 14時～）
- 18日 第65回国民体育大会高知県選手団壮行式（高知市 県民体育館 15時～）

編集後記

「夢のかけ橋」第11号をお届けします。はじめとした梅雨も明け、夏休みになりました。夏は、子どもたちが少し見ない間に大きく成長する季節です。私たちが暑さに負けず、研修や研究会などを通して自分を磨き、子どもたちのように成長していきましょう。

本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局
教育政策課



(TEL) 088-821-4731

(FAX) 088-821-4558

(E-mail) 310101@ken.pref.kochi.lg.jp